

## 「50年の重み」

南区青少年指導員協議会 会長 山崎 直宏



いろいろなことを長い間続けるというのは、言うほど簡単ではなく、活動を50年間続けるには、相当なエネルギーを要してきただろうと思われます。今までの諸先輩方のご苦勞に感謝し、敬意を表したいと思ひます。

私が南区の会長になってまだ2年目ですが、今までの会長さん達がやってこられたことを何とか続けていくことに日々必死です。春の桜まつりに始まり、夏の南まつり、ふれあいキャンプ、秋のボイス・オブ・ユースなどの事業を、おたおたしながらもこなしてきました。

とても新しい企画や、将来を見据えた活動などはまだまだできない状況ですが、イベントに参加した子どもたちの明るい笑顔に触れることが、大きな喜びとなっています。

南区の青指は、児童・生徒との触れ合いの場、青少年の居場所を提供するという基本方針のもと、185名の指導員が力を合わせ、特色ある事業を継続しながら、次の50年に向けて活動して行けたらと思ひます。

## 「50周年に寄せて」

南区長 大木 節裕



青少年指導員制度50周年おめでとうございます。この記念すべき年を皆様と一緒に祝えることを、大変うれしく思っています。

青少年指導員の皆様には、それぞれの地域で、また区域全体を対象に、イベント、各種行事など1年を通して青少年の健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

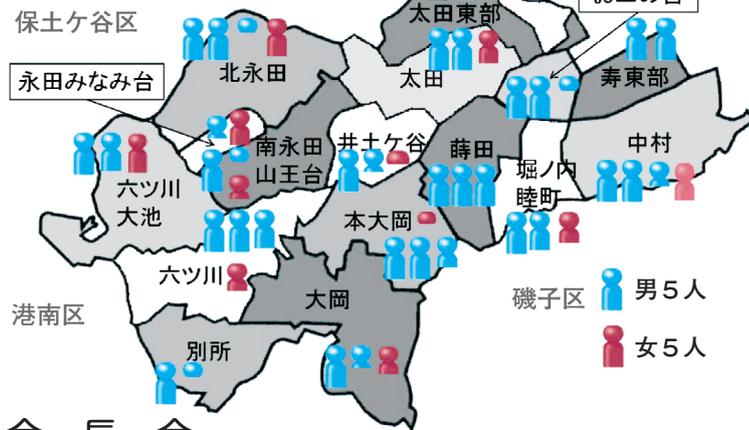
青少年の健全育成のみならず、ふれあいキャンプやボイス・オブ・ユースでの運営ボランティアとして、青少年自身がかかわる南区ならではの取組は、長年の積み重ねの賜物であると思ひます。

これからも将来の南区を担う人材である青少年を育てるための活動を一緒に進めていきましょう。

結びに、長年活動にご尽力された皆様に改めて敬意を表しますとともに、地域における青少年の健全育成への認識と取組が、今後ますます充実・発展していくことを祈念しまして、発刊に寄せての私のあいさつとさせていただきます。

## 南区の概要

### 地区分布



### 会長会

南区青指最高機関である会長会では、毎月1回の定例会に於いて、活動全般の方向性、役割等の確認、決定を行っています。



### 組織図



南区は、横浜市の中でも中心に位置し、16の地区連合によって構成されています。現在南区青少年指導員協議会は、185名で活動を行っています。南区の分布図に各地区別人数と男女比を掲載しています。

南区の青指活動は南まつり、ふれあいキャンプ、ボイスオブユース、桜まつりと、大きく4つの事業を行っています。後段では、この4つの事業について紹介します。

### 活動部会



年間行事の企画運営を行う活動部会。研修会では、司会、書記などを担います。4大行事では、準備や運営の活動全ての中心となっています。

### 広報部会



広報部会では年2回の広報誌の発行を行います。紙面カラー化、区内全戸回覧配布など、日々向上に努めています。

## 南まつり



また、大型テント4張を使い、模擬店として、やきとり、焼きそば、かき氷、揚げパン、カレーなどを出店し、区内小中高生が、2日間で延べ120名の参画により、盛大に運営しています。

毎年7月の最終土・日曜日の2日間、蒔田公園にて開催されます。南まつりにおける絵どうろうは、青指がまつりを盛り上げるため、全国的に有名な秋田県横手市より、絵どうろうを運び、展示したのがきっかけで、今では南区だけで200基も集まり、出来映えを競うコンテストもあります。



## ふれあいキャンプ



楽しく取り組めるよう事前の打合せを入念に行い準備万端で臨んでいます。カレー作りを始めとした野外炊事、キャンプファイヤー、ナイトウォーク等を通じて自然体験、生活体験、親睦を深めています。

毎年夏に、子どもたちとキャンプを行っています。富士山の麓、御殿場のキャンプ場で行われ、小学3年から中学3年までの子ども達が3日間、親元を離れて過ごします。青少年指導員を含めると100人を超える規模で我々のメイン活動のひとつです。安全に且つ



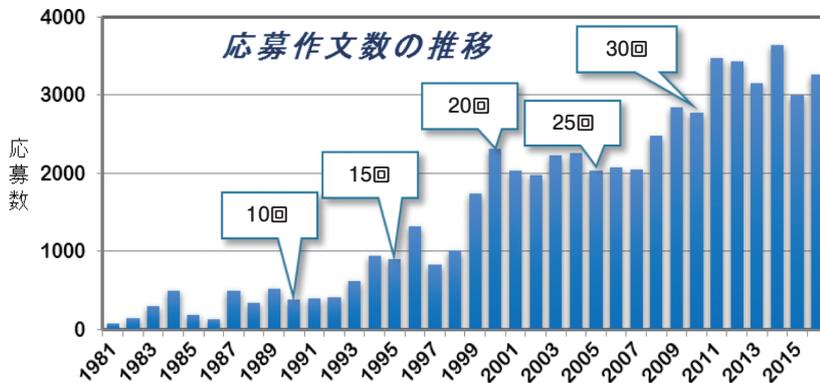
## ボイス・オブ・ユース 青少年の主張

区内在住・在学の小学校3年生～20歳の人たちに応募してもらった作文を青少年指導員が手分けして審査します。募集のテーマは、多少の変遷はありますが、昨年度は①地域活動に参加して②私の夢③私のまち・学校・友達・家族④私の防災⑤自由課題でした。



11月下旬にみなみん(南公会堂)を会場に、入選者の表彰、優秀作品の朗読を行うとともに、それらの作品を掲載した冊子を発行します。

昨年度で36回を重ね、当初は73編の応募でしたが、年を追うごとに増え続けここ数年は3,000編を超えています。



子どもたちの自己表現、発表の励みであるとともに、私たち青少年指導員にとっては、作文の中に現れる新鮮な視点、真摯な思いに心を洗われる貴重な機会です。

## 桜まつり

南区を南北に流れ、桜の名所としても知られるのが大岡川ですが、そのほとりにある蒔田公園において、毎年桜の開花の時期に合わせて開催されるのが桜まつりです。多くの団体による出店や、たくさんの催し物などでにぎわい、今や南区の春の風物詩ともなったと言えるかも知れません。



青少年指導員も、焼きそば、焼き鳥、青指茶屋の出店を行っており、小・中

高生を中心とした多くの若いボランティアの皆さんにも参加してもらっています。彼ら彼女らの笑顔によって毎年大変盛況となっており、同時に彼ら彼女らにも大いにやりがいを感じてもらっています。

## 「青少年指導員」を通じて人が作られる…。

港南区青少年指導員協議会 会長 二河 清



四半世紀前、息子と娘(現在は30代半ばです)が地域のスポーツのクラブにお世話になっていました。私も「運動会」や「餅つき」に参加していました。それをきっかけに町内会で「青指」に推薦されました。当初、何十年も続いている活動という自覚のないまま、夏の「ユース・ナイト・ハイク」で三崎口～港南台の30キロを歩きました。ゴールで迎えてくれた人たちとトン汁の温かさは、懐かしい思い出です。今では親子の触れ合いをテーマにした春の「ひまわりウォーク」として引き継がれています。

また、足柄や伊豆での宿泊研修・心肺蘇生術やさわやかスポーツの体験・少年鑑別所や市内の施設見学・他区の青指との交流会・小中学生の実態アンケート・「こどもゆめワールド」等の「青少年指導員」のキャリアも今の私を作っていると言えます。

これからも、青指になったばかりの方々と先輩青指との「和」を大切にして、長く関わりたくなる協議会にしたいと思っています。あわせて、事務局を通じて、小中学生とのつながりも濃くしていきます。

## 「50年後の未来に向けて」

港南区長 齋藤 貴子



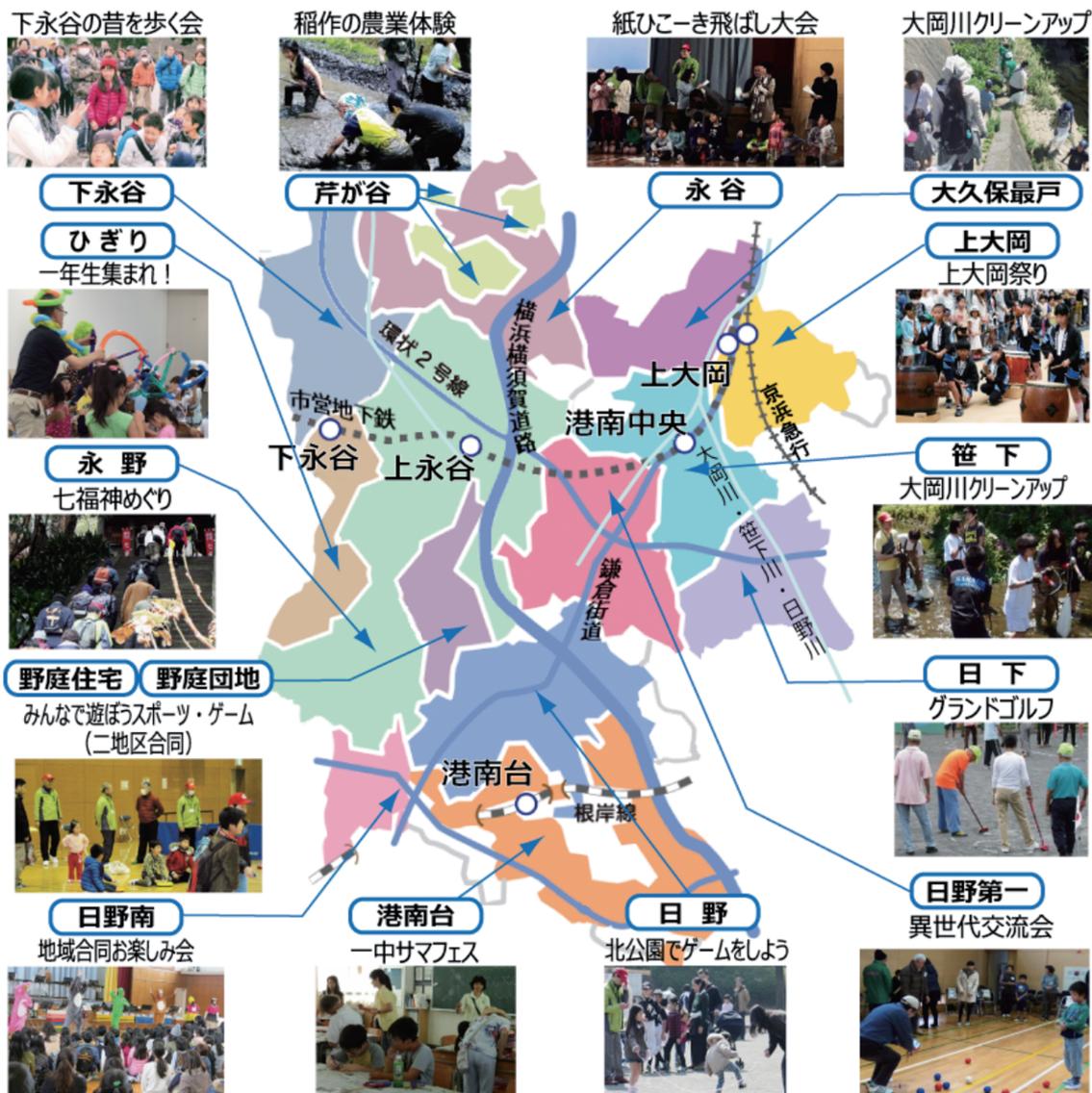
横浜市青少年指導員制度が発足し、50年となりました。

長きにわたり、青少年指導員の皆さまには、地域に根差した活動を続けていただき、誠にありがとうございます。

港南区では、区の花「ひまわり」にちなみ、「ひまわりウォーク」や「ひまわり生活体験交流」、また、「こどもフォーラム」や「こどもゆめワールド」、さらには各地域での取組も含め、子ども達を主役として、大切にしたい行事がたくさんあります。青少年指導員の皆さまが、子ども達の成長を願い、地域ぐるみで見守り、支援していこうと強い思いでかかわってくださっています。本当にありがとうございます。

子ども達にとって「ふるさと」と思えるような温かく、思い出深い地域となれるよう、これからも、未来に向け、青少年指導員の皆さまと一緒に創っていきましょう。どうぞ、よろしく願いいたします。

港南区青少年指導員 地区ごとの主要な活動



港南区青少年指導員協議会組織図

常任委員会 (地区協議会正副会長)

部会長会 (協議会正副会長、正副専門部会長)

4つの専門部会

※指導員はいずれかの部会に所属 (協議会正副会長除く)

事業	研修	広報	調査
ウォーキングをはじめとした事業を企画・推進する	研修会や講習会を通じてスキルアップを図る	「青指だより・通信」で青指の活動を内外で広める	青少年の動向や地区活動などを調査する

地区協議会 (15 地区連合)

## 港南区活動紹介 ① こどもフォーラム

港南区では、平成10年度から、中学校区単位で、小学生と中学生が青少年指導員をはじめとする協力者(P T A、子ども会、少年補導員、主任児童委員)の支援を受けながら、様々な活動を通して地域のことを考える「こどもフォーラム」を開催しています。



具体的には、区内31校の小・中学校の子どもたち(運営委員)が、中学校区ごとのグループに分かれて活動します。誰もが「住んでよかった」と思える地域づくりを目指し、子どもたちの目線で、自分たちが住む「港南区をどんなまちにしたいか」をテーマに、自分たちができることを話し合います。公園や川の清掃、あいさつ運動、お年寄りとの交流等様々な活動を行います。活動には、地域のことに詳しい大人が、協力者としてサポートします。

地域と小・中学生がしっかり接点を持って地域に根ざした活動をすることで、子どもたちの理解と関心を深め、社会性を育むとともに、青少年の健全な育成活動へとつなげています。



回を重ねて2017年は20回目を迎えましたが、年毎に子どもたちの考える事も活動も変わり、協力者として学びを感じることもしばしば。そんなこどもフォーラムを港南区青指はこれからも力強くバックアップして活動を推進していきたいと思っています。

## 港南区活動紹介 ② ひまわり生活体験交流

港南区では、子どもたちをはじめとした地域の皆さんの「ふるさと意識」の醸成を目的に、昭和63年度から宮城県大崎市(旧三本木町)と相互交流しています。



中でも、両都市の子どもたちが、毎年相互に訪問する「ひまわり生活体験交流事業」は、夏休みの3日間、港南区と大崎市の小学生(4～6



宮城県 花山の沢登り

年生)と一緒に2泊3日を過ごします。それぞれの地域の特色ある体験を通じて、仲間と力を合わせる大切さ、感謝する気持ち、初めてのことに挑戦する喜びなどを学びます。最初は緊張している子どももすぐに気持ちがほぐれ、みんな仲良しになります。

毎回参加した子どもたちからは、「いい思い出をつくることができた」「友達をたくさんつくることができた」「連絡先を交換した人たちと文通して将来再会したい」等様々な感想が寄せられています。

港南区青指もスタッフとして参加しており、子どもたちが楽しくそして安全に活動できるようサポートしています。その中で、子どもたちとの絆も深まります。子どもたちの笑顔や「参加してよかった」という声に元気をもらいながら、今後もサポートを続けていきたいと思っています。



野島青少年研修センター

港南区青少年指導員より…

今を感じる 青指川柳

青指員  
なっているのは  
高齢者

旧友も  
青指とやって  
20年

ユニフォーム  
赤帽目立つが  
認知度上がりず

大人より  
頼りになるよ  
中学生

どこにいる  
我らがヒーロー  
中学生

イベントに  
参加する子は  
いつも同じ顔

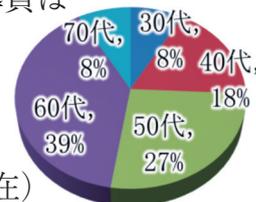
ボランティア  
気持を育む  
イベントで

ボランティア  
話して一緒に  
創る街

青少年指導員  
誰に何を  
指導する？

改革案  
議論されども  
現状維持

★港南区の青少年指導員は  
平均年齢56.9歳  
平均委嘱期間6.1年  
年齢分布は⇒  
(平成29年9月1日現在)



★現在の港南区の青指は  
赤い帽子に  
黄色いポロシャツ



★港南区調査部会の  
中学生アンケート結果より  
青少年指導員を知っているか？  
知っている ~ 22.5%

★青指関係のイベントに2016年港南区通算で324人の中学生が参加してくれました。共に活動する上で、ボランティアとしての中学生を育成していきたい、もっと大勢と一緒に

やっていきたいのですが、なかなか中学生に集まってもらえないのも現実の悩みです。

★次の50年に向けての港南区の青指の活動をどうしていくのか、各部会・各地区毎にこれから議論を深めて将来を見据えた活動をしていきたいと思ひます。

次世代とともに活動し、港南区の若い力を応援しよう

未来に向けてのスローガン

- このカミナリオヤジと言われる地域のご意見番、  
目指すそんな青少年指導員  
地域のにらみ役的な存在にさらにならなければと考へます。
- 10年後 担っているのは 子育て世代
- フォーラムの小・中学生 ここから育てて 未来の青指
- あの時一緒の中学生 今度は青指で仲間となつて…  
私たち青指と共に活動し育っていった人たちが未来の青指として賛同して活動してくれることも一つの目標として掲げていきたいと考へています。
- 怒鳴っても 目の奥の笑み 忘れずに  
暖かい目で地域と子どもたちを見守る存在でありたいものです。